

第1号議案

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5月からインフルエンザと同じ「5類」へ移行し、3年以上に渡った対策は平時に転換された年となりました。

政府や自治体による行動制限はなくなり、コロナ禍以前の社会生活に戻りつつあり、消費が低迷していた飲食や娯楽などのサービス消費が堅調に回復しました。

しかしながら、円安と原油相場の高騰でガソリンや食品等の値上げも相次ぎ、家計の負担が増えた年となりました。商業を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状況の中ではございますが、基本理念に基づく事業活動を実施してまいりました。以下、主だった事項について述べてまいります。

第1の柱である情報発信事業では、市商連のホームページに、商店街への各種支援制度（国・県・市）や商店街のイベント情報、プレミアム商品券の情報、支部長会議・総会・理事会の結果報告及び毎月発行している市商連ニュースを掲載してまいりました。また、街路灯広告専用ページにおいては、広告掲出希望企業等に向けて商店街街路灯広告の周知を図ってまいりました。

SNS（Facebook）についても、ホームページと連動して、商店街のイベントや商店街の取組み等の情報発信を積極的に行いました。

さらに、商店街への支援策や補助制度などの重要な情報については、全会員商店街（商店会）に、郵送のほかメール、LINEでの情報提供も行っていました。市商連ニュースについても毎月発行し、商店街や個店に有益な情報の提供に努めてまいりました。

第2の柱である政策提言活動では、7月中旬に、自民党・公明党・みらいの各会派の川崎市議団と商店街振興策等について、市商連役員が意見交換を行いました。令和6年度の川崎市への予算要望として、「商店街街路灯に対する電気料金補助額の増額」「街路灯の維持管理に対する新たな補助制度の創設」「アーケード内での街路灯広告の許可」「アーケード内広告の規制緩和」「市商連の運営費補

助金の増額」「市商連加入団体への支援」「商店街支援策の強化」「防犯カメラの維持管理費等の支援」「防犯カメラ設置補助金補助率の増額」などを要望しました。その結果、令和6年度から、商店街の防犯カメラ設置補助金の補助率が25%から50%に増額されることとなりました。

また、7月と12月の2回、経済労働局の幹部職員と市商連役員が「商店街振興と市商連の運営、物価高騰対策等」について意見交換を行いました。10月には、経済労働局長と「川崎市市制100周年記念事業と商店街振興策」について意見交換を行いました。さらに、2月には、経済労働局長と「令和6年度の川崎市商店街振興予算及び商店街支援策と市商連の運営」について意見交換を行いました。

第3の柱である活性化事業では、商店街活性化講演会と商店街観光ツアーを開催しました。

1 商店街活性化講演会

1月15日（月）にホテル精養軒において開催し、41名が参加されました。講演会の内容は以下の通りです。

講演：「下町人情キラキラ橋商店街」

講師：向島橋銀座商店街協同組合事務局長

千葉商科大学大学院客員教授 大和 和道氏

2 商店街観光ツアーの開催

11月17日（金）に、二子新地大通り商和会及び二子新地駅前通り松栄会において「商店街観光ツアー」を開催しました。

公募で集まった25名が参加し、二子新地の飲食店を中心とした個性的なお店を巡り、テイクアウトの料理やお土産を受け取って、多摩川河川敷での「たき火」を楽しむツアーを昼から夜にかけて楽しんでいただきました。

また、地区商連や単会への支援事業としては、

3 地区商業調査研究支援事業では、

- ① 9月6日～7日に実施した、中原区商連夏季大学（参加者24名）に助成金を交付しました。

テーマ：「通行客を来店客へ入店率を向上させ店のファン化へつなげよう」

講師：(株)ファンクリエーション 村越 和子氏

- ② 2月10日～11日に実施した、多摩区商連の市外研修会に助成金を交付しました。

テーマ：湯河原商店街の取組みについて

講 師：湯河原駅前通り明店街 会長 村上 一夫氏

4 商店街魅力アップ支援事業は、商店街のイベント事業が少しずつ再開されてきたことから、川崎市との契約締結を行い19の事業について確認業務を行いました。

5 街路灯の広告掲出支援事業では、溝ノ口駅前商店街振興組合、かしまだ駅前通商店街振興組合などで商店会収入につながる企業広告の確保への支援を行いました。

次に、川崎フロンターレに対する支援事業では、ホームゲームの試合終了後にその試合で最も印象に残った選手に「あんたが大賞」として 市内各区の名産品などの賞品を贈呈しました。【各地区商連及び市商連、市商連青年部】

また、ホームゲームで等々カスタジアムに掲載している応援用の横断幕（各地区商連と市商連）11枚を、令和6年度の川崎市制100周年を記念して、十数年ぶりに新調しました。横断幕のサイズは90cm×350cmで、各地区商連それぞれの応援メッセージが入っています。

第4の柱である後継者育成事業（青年部事業）では、各種委員会への出席や商店街活性化講演会の企画及び運営、チラシ作成を行いました。

また、能登半島地震で被災された地域の復興支援を目的とした募金活動を実施するため、募金箱用のシールを作成・配布をしました。

以上これらの事業実施・取り組みにあたりましては、会員各位のご理解・ご協力のもと、川崎市、川崎商工会議所並びに商連かながわのご支援を賜り、所期の目的を達成することができましたことを、心から感謝するものであります。

以下、実施した事業概要についてご報告いたします。